

戸建木造住宅 耐震化促進事業の拡充に向けた説明会 無料

本市ではこれまで、旧耐震基準(昭和56年5月以前に着工したもの)の住宅を対象に「戸建木造住宅耐震診断士派遣事業」を実施してきました。去年の熊本地震を受け、新耐震基準(昭和56年6月以降に着工したもの)の住宅でも平成12年5月以前に建てられたものには被害がみられました。そこで、今後の本事業の拡充に向け、事業内容の周知とともに皆さんの意向を把握するため、説明会を開催します。



事業説明会

期 日 10月15日(日)、16日(月)
 時 間 第1回 午前11時～、第2回 午後1時半～ ※各1時間程度を予定。
 場 所 市役所別館自転車駐車場8階会議室
 定 員 各回150人(先着順)
 持参物 筆記用具
 申込み 10月5日～12日までに「説明会申込み」、住所、氏名、電話番号、参加人数(最大2人まで)、住宅の建築年、参加希望日時を書いて、持参か郵送、ファクス(096-359-6978)または電子メール(kenchikubutsuanzensuishin@city.kumamoto.lg.jp)で〒860-8601建築物安全推進室(市庁舎9階 平日午前9時～午後5時)へ
 ※定員人数を超える場合、別の回をご案内する場合があります。
 ※「〒860-8601」は市役所専用番号です。住所の記載なしで郵便物が届きます。

対象となる住宅の条件

市内にあり、人が住んでいるまたは住む見込みがある戸建木造住宅で

1. 平成12年5月31日以前に着工したもの
2. 在来軸組構法、伝統的構法で建てられたもの
3. 3階建て以下のもの

1、2、3すべてに該当する必要があります。

※昭和56年6月以降に着工した戸建の木造住宅は熊本地震により被害を受けたもの(り災証明書や被害写真により確認できるもの)が対象となります。

詳しくは、建築物安全推進室(☎096-328-2449)へ。

10月はピンクリボン月間 定期的に乳がん検診を受けましょう

日本人女性の11人に1人がかかるといわれている乳がん。今や40歳代、50歳代の女性が最もかかりやすいがんとなっています。乳がんは、早期発見・早期治療を行えば治る可能性の高い病気です。自分や、大切な人のためにも、定期的に検診を受診しましょう。

乳がんとは？

乳がんは、乳腺(母乳を作り運ぶ場所)にできるがんです。乳がんにかかる人は年々増加しています。30歳代から増えはじめ、特に40歳代後半にもっとも多く発生しています。



ピンクリボンとは
 乳がんの正しい知識の普及や、乳がん検診の早期受診を推進することを目的として行われる世界規模な啓発活動のシンボルマークです。

乳がんは、早期発見できれば高い確率で治ります！ 2年に1回、必ず受診しましょう！

検診内容	対象者 (平成30年3月31日時点の年齢)	自己負担金	検診会場
医師による視触診 乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)	40歳以上の 偶数年齢の女性	40歳代 1,500円 50歳以上 1,100円	指定医療機関 集団検診会場

※本市のがん検診は、市内に住民登録があり、勤務先などで同様の検診を受ける機会のない方が対象です。

乳がん検診無料クーポン券を送付しています

有効期限は来年2月28日まで。早めの受診をお願いします！

対 象 平成29年4月1日時点で40歳の女性 ※昭和51年4月2日～52年4月1日生まれの方です。

がん検診と月に1回の自己検診を！

乳がんは身体の表面に近い部分に発生するので、自分でも発見可能です。がん検診に加えて月1回の自己検診も行いましょう。



触診 触ってチェック
 触ってしこりの有無をチェック



視診 目でチェック
 目で見てくぼみや分泌液を確認

検診に必要なもの

- ・ 保険証や運転免許証などの住所・氏名・生年月日が確認できる身分証明書
- ・ 検診料(自己負担金)

■生活保護受給世帯・市民税非課税世帯の方は、自己負担金が免除されます
 ※必要書類などに関して、詳しくは、13ページ「胸部(肺がん・結核)検診、胃がん検診 ▶費用」をご覧ください。

セルフチェックの方法や指定医療機関など、詳しくは、[熊本市 がん検診](#) [検索](#)

